明治大学大学院特別公開講座

東映アニメーションの女児向けアニメ：歴史とヒットの秘密

「ニチアサの母」が語る、女児向けアニメヒットの舞台裏。

東映アニメーションで数々の作品を手がけてきた関弘美氏が、その歴史と制作現場、プロデューサーの視点からヒットの秘密をひもときます。

講師	関 弘美（せき ひろみ） 氏
日時	2026年10月26日（月） 18時30分～20時30分
会場	中野キャンパス高層棟 5階 515教室
司会 コーディネーター	藤本 由香里（明治大学国際日本学部教授）



©東映アニメーション

事前申し込みが必要です。

申し込みはコチラから！

https://forms.gle/aHUZ2HTJEtNkpvLf9

【講師プロフィール】

関　弘美（せき ひろみ）

早稲田大学在学中から東映不思議コメディーシリーズの『ロボット8ちゃん』『バッテンロボ丸』の脚本を執筆し、雑誌ライター等を経て、1985年に東映動画（現東映アニメーション）入社。単独で企画を立ち上げて実現した初の女性プロデューサーとなる。作品がとくに日曜朝8時半の枠で展開されヒットしたことから、「ニチアサの母」と呼ばれ、女児向けアニメを多くてがける。プロデューサー作品に『ママレード・ボーイ』『ご近所物語』『花より男子』『おジャ魔女どれみ』シリーズ、『デジモンアドベンチャー』シリーズ、『明日のナージャ』等多数。

